

Forethumb

DRモデル取扱説明書

この度は、Forethumb DRモデルをご購入いただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は、本製品をご利用頂くための手順を記載しております。ぜひご一読頂いた上でご利用ください。

製品、付属品の確認

本製品には、以下の製品と付属品が梱包されています。きちんと納品されたか最初にご確認をお願い致します。

1. Forethumb DR基板本体
2. 取扱説明書（本書）

本製品の特徴

本製品は、エレキー方式にてモールス符号を入力すると、パソコン等へキーボード入力を行える製品です。3.5mmジャックを用いて通常のパドル接続して使用します。イヤホンによるサイドトーンの聴取も可能です。

モールスの打点速度、サイドトーンのボリューム、周波数は符号表にあります指定の符号列によって調整を行うことが可能です。

動作確認

本製品がお手元に届いたらまずはじめに、お使いのパソコンで動作するか確認をお願い致します。当社（Forethumb LLC）で動作が確認できているOSはWindows、Mac、Androidです。場合によっては、お使いになれない環境もございますのでご了承ください。

本製品をmini USB B端子 - USB A端子のコードで接続します。このコードは多くのAndroidスマートフォン、Windows Phoneの充電・データ通信に多く使用されているコードです。

<動作確認の手順>

1. mini USB B端子 - USB A端子のコードでパソコンとForethumbを接続する
2. CN3端子にパドルを接続してください
3. notepadやメモ帳などキーボード入力が出来るところにカーソルを移動させ、短点（左のパドル）を一打点する
4. eが入力できるかを確認する

確認ができましたら、本書最後にある対応モールス符号一覧表をご覧の上、ご利用ください。

トラブルシューティング

当団体が何度か使用し、起きた問題についての解決方法をご紹介します。なお、基本的に以下の問題に関しては、本製品出荷前に解決している問題または、回避できる問題であると認識しています。万が一問題が発見された場合、当方にご報告いただけると幸いです。

1. 同じ文字が永久に打点される。（例：eeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeeee.....）

<解決方法>

一度USB端子を抜き、パソコンとForethumbの接続を解除して再度接続しなおしてください。（本問題は解決済みです）

2. 対応モールス符号一覧に記載の文字と違う文字が入力される

<解決方法>

本キーボードは、原則キーボード配列に則って入力がされます。お客様が利用されているIME（Google日本語入力やMicrosoft IMEなど）によって、入力できる文字が変わる可能性があります。当団体が確認されている違いについては

Mac

キーボード：JIS配列準拠QWERTYキーボード

IME：Google日本語入力

対応モールス：US配列

Windows

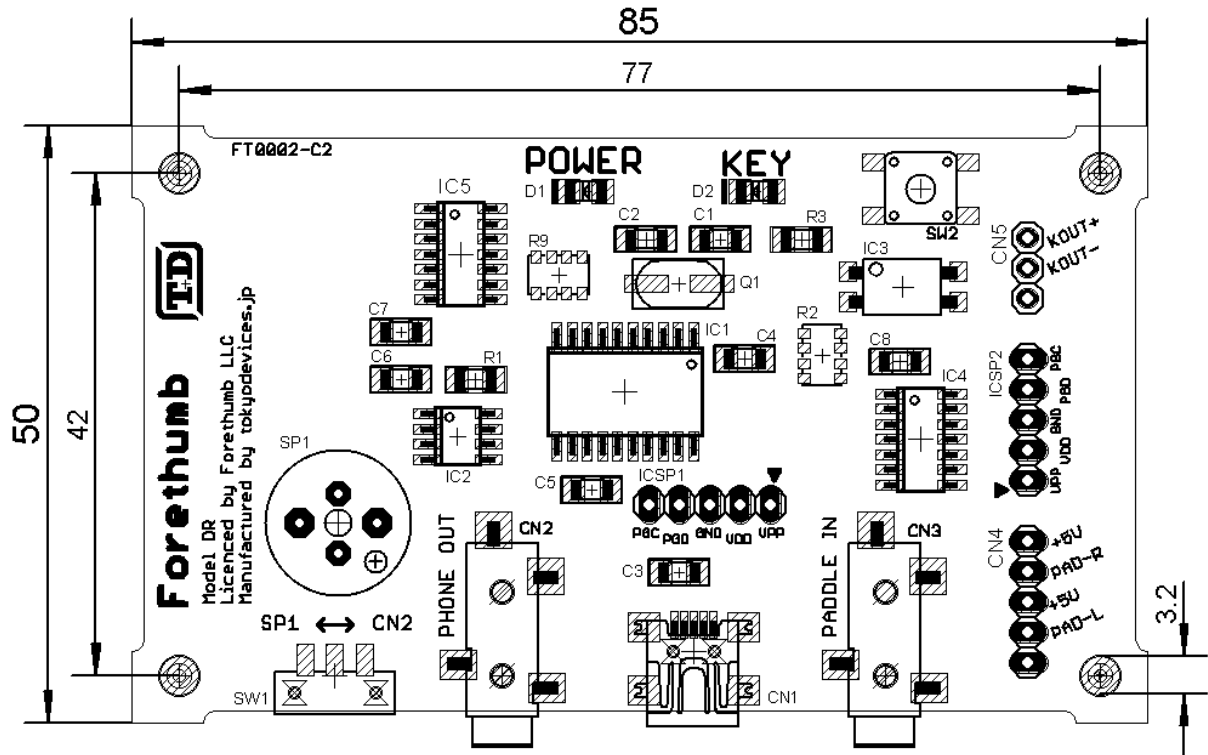
キーボード：JIS配列準拠QWERTYキーボード

IME：Google日本語入力

対応モールス：JIS配列

WindowsでUS配列での利用を希望される場合は、入力方法（IMEの種類）をUS配列モードにいただけると解決する場合があります。

製品概略図

**CN3 3.5mmオーディオ入力端子(パドル入力)**

パドルを接続します。3.5mmジャック (Tip:長点, Middle:短点,Shield:GND)

※TipとGNDの短絡で長点を入力、MiddleとGNDで短点を入力できます。

CN2 3.5mm イヤホン出力端子(イヤホン出力)

3.5mmステレオのイヤホン等を接続して使います。SW1をCN2に設定するとCN2に出力されます。SW1をSP1に設定すると基板上のスピーカSP1から音が出ます。

CN5 キーヤー出力端子

フォトプラのオープンコレクタ側出力を出しております。KEY+がコレクタ、KEY-がエミッタとなっております。

CN1 USB接続端子

市販のUSB mini Bのデータ転送用ケーブルを用いることで、パソコン等に接続してキーボードとして認識させることが可能です。スマートフォンに接続する場合は、USB OTGケーブルまたはUSBハブが必要となる場合がありますのでご注意ください。

※なお、無線機との接続や外部スイッチ、パドルの製作例に関しましては、当団体から情報を公開予定ですので当団体ホームページ等にて合わせてご確認ください。

対応モールス符号一覧

本製品が対応しているモールス一覧です。JIS配列、US配列の二通りあります。（次のページから2ページに渡って記載しております）

音量の変更、打点速度の変更、音の周波数の変更もモールス符号を入力することで行うことができます。

JIS配列

アルファベット	モールス符号	アルファベット	モールス符号
A	.-	&	.-..
B	-...	}	---.
C	-.-.]	-..-
D	-..	`	..-.
E	.	{	.-..
F	..-	@	..-.
G	--.	[.-..
H	"	.-..
I	..	+	---..
J	.---	;	---.-
K	-.-	(..--
L	..-	~	..-
M	--	:	..---
N	-.	?	..-..
O	---	/	..-
P	.-.	.	.-..
Q	-.-.	,	---..
R	.-.	<	..-
S	...	>	.-..
T	-	!	-.-..
U	..-	*	..-.
V	...-	#	..-.
W	.-.	\$..-.
X	-.-.	%	..-
Y	-.-.		..-
Z	-..	^	..-.
0	-----)	..-
1	.----	半角/全角	.----
2	..---	space	-.-.
3	...--	TAB	----
4-	BackSpace	...-
5	Enter	..-
6	-....	音量を1つ上げる	..-
7	--...	音量を1つ下げる	..-
8	---..	周波数を1つ上げる	..---
9	----.	周波数を1つ下げる	--....
-	-....-	打点速度を1つ上げる	-....
=	-.-...	打点速度を1つ下げる

US配列

アルファベット	モールス符号	アルファベット	モールス符号
A	.-	^	.-..
B	-...		---.
C	-.-.	\	-.-.-
D	-..	{	..-..
E	.	}	..-.-
F	..-.	[..-..
G	--.]	..-.-
H	@	..-.-
I	..	:	---..
J	.-..	;	---.-
K	-.-	*	..-..
L	..-.	+	..-.-
M	--	'	..-.-
N	-.	?	..-..
O	---	/	..-.-
P	..-.	.	..-.-
Q	-.-.-	,	---..
R	..-	<	..-..
S	...	>	..-.-
T	-	!	..-.-
U	..-	"	..-.-
V	...-	#	..-.-
W	..-.-	\$..-.-
X	-.-.-	%	..-..
Y	-.-.-	&	..-.-
Z	-.-.	~	..-.-
0	-----	(..-.-
1	..----)	..-.-
2	..----	`	..-.-
3	...--	space	..-.-
4-	TAB	----
5	BackSpace	...-.
6	-....	Enter	..-.
7	--...	音量を1つ上げる	..-.-
8	---..	音量を1つ下げる	..-.-
9	----.	周波数を1つ上げる	..-.-
=	-....-	周波数を1つ下げる	..-.-
-	-....-	打点速度を1つ上げる	..-.-
_	-.-...	打点速度を1つ下げる	..-.-

ユーザーサポートに関して

お問い合わせは、メールにて承っております。

下記メールアドレスまでお願い致します。

info@forethumb.com

免責事項

- 1.本取扱説明書の制作にあたっては、できる限りの検証を行っておりますが、著作者はその内容の正確性については保証するものではありません。
- 2.本マニュアルの利用により生じたいかなる損害に対しても、著作者は一切の責任を負いません。
- 3.本製品の故障について、Forethumbに故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 4.本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的及び精神的損害、逸失利益、並びにデータ損害の補償等につきましては、Forethumbは一切の責任を負いません。

開発元

合同会社Forethumb

<https://forethumb.com>

東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟14階